

編集後記:既に新聞報道等でご存じかと思いますが、2003年10月25日に環境観測技術衛星「みどり II (ADEOS-II)」が、打ち上げ後わずか10か月で電源系の異常により運用断念に追い込まれました。10か月弱のデータを残して1997年に運用を停止した「みどり (ADEOS)」と同様な結果に終わり、関係者の方々は大きな無念の思いを抱いていると思います。

さらに11月29日には、H-II A ロケット6号機の打上げが失敗し、7号機で打上げが予定されている、「ひまわり5号(GMS-5)」の後継機となる運輸多目的衛星(MTSAT-1R)の打上げスケジュールへの影響が懸念されています。ご存じのようにGMS-5は既に引退し、現在私たちが見ている雲画像は、米国から借りたGOES-9のものですが、GOES-9も老朽化した衛星でいつまで持つか不安視されています。

いうまでもなく、現在の天気予報は高層ゾンデやアメダスといった従来からの観測技術だけではなく、衛星観測やスーパーコンピュータといった高度な科学技術に支えられています。地球環境問題の解決のために

産業革命以前の生活レベルに戻ることができないように、最新の科学技術に頼らない天気予報や気象観測の技術レベルに戻るわけにはいきません。「科学技術立国ニッポン」というキャッチフレーズがすぐに実現するとは思えませんが、やはり科学技術の発展なしに将来を夢見ることはできません。

日本人は失敗を許せない気風を持っていると言われていますが、単に他人を叱咤激励する(がんばれと言う)のが好きなだけではないでしょうか。今回の宇宙開発技術の失策に対しては、既に新聞報道等で叱咤激励されているので私が出る幕ではないのですが、一言だけ、宇宙開発には巨額の税金が使われるので、技術者が官僚化する傾向があると言われていますが、技術研究者はあくまで主体性、創造性、そして科学技術の発展に対する信念を持ちながら、現実性を重視した開発をして欲しいと思います。みなさまのご理解と今後の科学技術発展へのご協力をお願いいたします。

(佐藤 晋介)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 神沢 博(理事)・古川武彦(理事)

藤部文昭(理事)

青柳曉典・石田純一・大淵 濟

小山 亮・勝山健一・勝山 税

金田昌樹・川島正行・木村陽一

杵渕健一・小出 寛・桜井敏之

佐藤晋介・小司禎教・住 明正

関山 剛・高橋 宙・田口晶彦

寺坂義幸・中西幹郎・中村 尚

新村典子・別所康太郎・水野 量

村上茂教・山本 哲

地区編集委員 北海道 西 道夫・渡部雅浩

東北 藤田由紀夫・岡本 創

関東 田代誠司

中部 永尾一平・岡田 京

関西 二階堂義信・山中大学

九州 渡辺典昭・中島健介

沖縄 我謝良弘

編集書記 遠藤和子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体(図書館も含む)は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
学術著作権協会

Tel: 03-3475-5618, Fax: 03-3475-5619

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel: 81-3-3475-5618, Fax: 81-3-3475-5619

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp